

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) DOWAエフテック株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒708-1523 岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1045番地	
本票作成	部署名：管理部				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	ボンド用フェライト粉の製造				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	柵原工場		岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1045-8番地	
	②	塩田工場		岡山県和気郡和気町塩田314番地	
	③	物流センター		岡山県和気郡和気町矢田1004番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 30)年度排出量	目標年度(令和 1 年度)
	8,699 t CO ₂	13,124 t CO ₂	8,264 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 30)年度排出量
	①	柵原工場	13,111 t CO ₂
	②	塩田工場	6 t CO ₂
	③	物流センター	6 t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 27 年度 ～ 令和 1 年度 (5 箇年度)		
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(30)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 7.3 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量 (t/年)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(30)年度	目標年度
		1.005 t CO ₂ /(t)	1.078 t CO ₂ /(t)	0.955 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 30 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

2014年度から設備増強を行い、2018年9月に主要設備は完了。完成した工程から順次 試運転→生産運転に移行し生産能力アップを確認中。その中で、焼成工程はロータリーキルン(RK2)を増強したが、既存設備(RK1)の類似設備であるが同型ではないため、顧客からの認定を受ける必要がある。認定にかかる時間は顧客により差がある為(数か月～最大3年)、認定が出ていない銘柄を製造中は、待機運転(空運転)する必要があり、原単位悪化の大きな要因となっている。なおロータリーキルンの立上げ・立ち下げには約2日必要、且つ設備の劣化が激しいため、待機運転が必要となる。また西日本豪雨時にはトラブルによる生産量↓(約370t,7月・8月)となり、こちらも原単位悪化の原因となった。

【推進体制】

ISO14001（2004）：2004年3月認証取得

部門長会にて 燃料(灯油)、電力原単位の削減状況・突発故障低減を1回/月報告

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
柵原工場	<p>(2018年度実施分)</p> <p>工場照明のLED化 コンプレッサー高効率タイプ1台導入 3号アニールキルンの改造による生産性向上で原単位削減</p> <p>(今後実施予定分)</p> <p>空送補助エア改善による電力原単位改善 振動ミルの生産性向上による電力原単位改善 ロータリーキルン2号機の運転条件最適化 運転計画の最適化による燃料原単位改善 突発故障低減による原単位改善</p>

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--